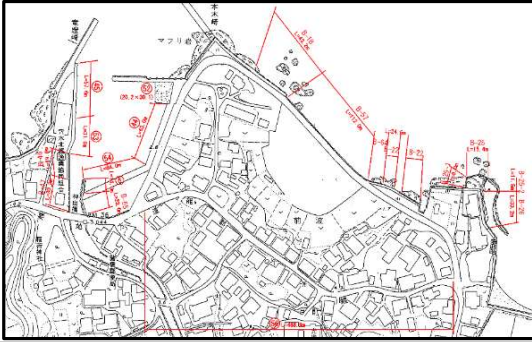


令和 6 年能登半島地震 被害・復旧状況カルテ

施設等名称		前波漁港	
位置図	地番	前波地先	
			
施設概要 発災当初の 状況	被害額	550,000,000	円
	護岸の水叩工の沈下、亀裂、破断、空洞化、傾き 石積の抜け落ち 物揚場のエプロンの沈下、亀裂、護岸の傾き 船揚場の舗装版の亀裂		
被害状況詳細	・ 6災第1123号 復旧延長 L=239.4m -1.5m物揚場44 L=63.2m、 -1.5m物揚場54 L=64.3m、船揚場52 L=20.2m、 -2.0m物揚場45 L=57.6m、-2.0m物揚場53 L=34.1m ・ 6災第1124号 復旧延長 L=263.4m 前波漁港線56 L=263.4m ・ 6災第1125号 復旧延長 L=172.2m 57号護岸 L=112.0m、 18号護岸 L=47.1m、64号護岸 L=13.1m ・ 6災第1126号 復旧延長 L=11.4m 22号護岸 L=11.4m ・ 6災第1127号 復旧延長 L=32.5m 25号護岸 L=15.3m、27号護岸 L=17.2m		
	1 1月6日災害査定実施 工事発注まで危険箇所はバリケード設置中 (護岸)(B-18・64)沈下した水叩工を打ち替える。(B-57)傾きや滑動について実施設計時に検討。(B-22)抜け落ちた石積護岸を隣接の災害復旧区間と同断面で復旧する。 (物揚場)(45・53・54・44)沈下、亀裂の生じたエプロンを打ち替える。護岸の傾きは実施設計時に検討。(船揚場)(52)亀裂の生じた舗装版を打ち替える。 (臨港道路)(56)陥没した舗装の復旧。(その他)護岸(B-45・45・55)及び導流堤(5)は、 県と復旧区間の調整中。護岸(B-25・26)は、背後地(民宿)の土地利用者よりキャンプ場等の跡地利用を計画しており護岸修繕を行うこととする。		
写真	撮影日時		
			